

ストック (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	菌 核 病	苗 立 枯 病	ア ザ ミ ウ マ	ア ブ ラ ム シ	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ヨ ト ウ ム シ	ハ イ マ ダ ラ ノ メ イ	ハ ダ ニ ガ
トップジンMゾル	1		*f	5	◎								
ホームイ水㊦	1・M3		*d	1		◎							
ゼンターリ顆水	11A		*b	－					◎				
チューリサイド水	11A		*b	－					◎				
チューンアップ顆水	11A		*b	－					◎				
トアロー水C T	11A		*b	－					◎				
バシレックス水	11A		*b	－					◎				
オンコル粒 5	1A		*a	1					◎				
			*e	3			◎						
ガゼット粒	1A	劇	*a	1					◎				
オルトラン水	1B		*b	5					◎			◎	
マブリック水20	3A	劇	*b	2					◎				
モスピラン顆溶	4A	劇	*b	5			◎	◎					
モスピラン粒	4A		*c	1								◎	
アニキ乳	6		*b	6					◎				
アフーム乳	6		*b	5					◎				
コテツFL	13	劇	*b	2			カ		◎	◎	◎		◎
ノーモルト乳	15		*b	2					◎	◎			

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ペノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。

*a:定植時

*b:発生初期

*c:育苗期

*d:播種前

*e:生育期

*f:発病初期

カ:ミカンキイロアザミウマ

ストック (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
萎凋病	播種または植付け前	・ 次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤または バスアミド微粒剤 30～40kg/10a	育苗箱は消毒する。
菌核病	生育期	・ 3年程度、輪作する。 1. 発病株は速やかに処分する。 2. 蕾の出るころまで次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟●* 1500倍 トップジンMゾル㊟● 1000倍 3. 蕾の出るころは灌水を調節し過湿をさける。	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 * 花き類・観葉植物での登録
苗腐病	播種または植付け前	・ 次の薬剤のいずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤または バスアミド微粒剤 20～30kg/10a	
灰色かび病		・ 発病前から発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊟●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍	施設では過湿、密植をさける。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。 * 花き類・観葉植物での登録
コナガ		・ 施設栽培…開口部に防虫ネット等を張り、成虫の侵入を防ぐ。 ・ 露地栽培…生育初期は防虫ネット等のトンネル栽培を行う。	
	定植時	・ 次の薬剤のいずれかを施用する。 ガゼット粒剤 ・ 株元散布 9kg/10a ・ 全面土壌混和 18kg/10a オンコル粒剤5 ・ 株元散布 0.5g/株 ・ 全面土壌混和 9kg/10a	薬剤により、幼苗期と花蕾出現期に被害が出やすいので注意する。
	発生初期	・ 発生を見たら次の薬剤のいずれかを施用する。 アフファーム乳剤 1000～2000倍 オルトラン水和剤 1000倍 コテツフロアブル 2000倍 トアロー水和剤C T 1000倍	